



2022年8月15日

株式会社 阿波銀行

株式会社フルーツガーデンやまがたの「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、株式会社フルーツガーデンやまがた（代表取締役 山形 文吾、本社：徳島県鳴門市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	株式会社フルーツガーデンやまがた
所在地	徳島県鳴門市大津町大代 642 番地 1
代表者	山形 文吾
業種	果物生産販売業
設立	2012年6月5日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年8月15日



株式会社フルーツガーデンやまがた 代表取締役 山形 文吾

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール
環境	ゴミ・廃棄物削減	未来の地球環境を守るため、自社で排出する廃棄物の削減やリサイクル等の活動に努めます。	① 水産業者の廃棄物である牡蠣殻を土壌改良に利用し安全安心なフルーツを提供	8 働きがいも経済成長も 14 海の豊かさを守ろう
			② 牡蠣殻 年間1,500kg以上再利用	11 住み続けられるまちづくりを 15 陸の豊かさも守ろう
社会	不正競争行為の禁止	従業員全員が、不正競争行為について理解をし、該当する行為が行われぬように防止活動に努めます。	① (1)規程・方針に製品データの偽装・改ざん技術の盗用等を禁止する旨を定める (2)不正競争行為に関する研修の実施	8 働きがいも経済成長も
			② (1)2024年度までに規程・方針を見直し、全社員へ通知 (2)年4回研修を実施	16 平和と公正をすべての人に
環境・社会・経済	法令情報管理の徹底	業務に関わる新規法令の適用や法令の改正について、常に情報収集に努め、法令順守を徹底します。	① (1)最新の法令の改正・新規制定の情報収集 (2)法務・コンプライアンス担当の設置	8 働きがいも経済成長も
			② (1)年2回法改正を確認し、有効性を検討 (2)2023年度までに担当者1名の選任	16 平和と公正をすべての人に
環境・社会・経済	リスクマネジメントの実施	持続的な事業活動のために、自社の業務において発生しうるリスクを認識し、あらゆる対策に努めます。	① 担当部署の設置	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
			② 2023年度までに担当部署、担当者を選任	16 平和と公正をすべての人に

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。